

須坂市市長  
三木正夫 様

2009年(平成21年)2月20日  
根子岳風力発電を考える連絡協議会

根子岳における大型風力発電計画には同意しないで下さい  
署名2万名を添えてお願いします

(1)署名2万名を達成しました。建設予定地は適地ではありません。この計画には同意しないで下さい。

1-署名総数 20,594名。須坂市民はもとより、全県・全国の人々が注目し、心配しています。  
今回提出第3次 3,170名、第1次 11,491名(07年5月)、第2次 5,933名(07年11月)、  
内訳: 県内9,224名(内、須坂市2,253名、上田市2,125名)、県外11,370名

2-建設予定地は県の4大問題点全てに該当する場所であり、建設適地ではありません。

1. 水源の涵養や山地災害の防止等のために森林機能の保全が特に必要な地域  
⇒峰の原上水道水源地、昭和56年土石流発生地です。
2. 鳥の風車への衝突事故をはじめ自然環境、生態系に少なからず影響をおよぼすおそれのある地域  
⇒樹木も十分生育できない程に過酷な条件の亜高山帯で、生態系は脆弱であり回復は困難です。
3. 希少野生動植物の生息、生育に影響を及ぼすおそれのある地域  
⇒イヌワシの生息地であり、タカ類の渡りルートです。
4. 大中型風力発電施設の建設により景観に少なからず影響を及ぼす稜線等の地域  
⇒国立公園、花の百名山です。

3-村井県知事も、県内での大型風力発電の設置は「不可能」との見解です(09.2.12日)。  
県の影響想定地域マップでは、「レベル1」や「レベル2」に指定される場所です。

4-市議会でも請願書を審議しています。  
採算性・事業性などの評価の前に、水源・災害・環境からみた判断を下すのが先ではありませんか。

(2)ワシタカ調査結果の報告

'05~'08年の調査結果(別紙)が示すように、建設予定地の周辺はイヌワシの生息地であり、  
タカ類の渡りコースです。

(3)温暖化防止、地域振興のための5つの提言

~須坂の市街は「田園環境都市」、高原は「エコビレッジ」~

1-根子岳(国立公園)では自然環境保全を優先する。  
山岳県長野では大型風力発電については「ほぼ適地なし」です。

2ー地域に適した自然エネルギーを推進する。

長野は全国有数の日照時間の長い場所であり、太陽光発電・太陽熱利用の適地です。

3ーエネルギーを大量消費しない暮らし方と街づくりを推進する。

省エネ、地産地消、公共交通網など。地元の環境関連グリーン産業の育成。

4ー林業再生を推進する。

森林整備、木材利用、木質エネルギー活用、森林の公益的多面的機能の向上。

5ー観光再生を推進する。

豊かな自然環境と人の輪をもとにした観光振興。体験学習旅行、エコツーリズム、森林セラピーなど。

(補)最近のニュース

1ー峰の原スキー場：リフト券割引問題の解決に努力いただき感謝します。これで地域が協力協同していけます。

2ーIPPジャパン：里美WF(茨城県)をユーラスエネルギーに売却。(建設前の約束はどうなるのか?)

3ーミツウロコ・M&Dグリーンエネルギー：菅平地区で風力発電の計画(日経産業09.1.8)

4ーユーラスエネルギー釜石WF(岩手県)：操業4年でイヌワシが風車に衝突死  
(環境省東北08.11.14)

5ー風車の騒音・低周波音で健康障害か(愛媛県、愛知県)

「根子岳風力発電を考える連絡協議会」

根子岳風力発電を考える会(峰の原)、GREEN・LAB(峰の原)、

須坂スポーツマンクラブ、「菅平の自然」研究会、

長野県勤労者山岳連盟、長野県山岳環境保全研究会、

日本野鳥の会長野支部、長野イヌワシ研究会、

長野県自然保護連盟、(順不同)

事務局 木村輝佳 〒386-2204 長野県上田市菅平高原1278-2273 ロッチデール山荘内

Tel/Fax:0268-74-3022 E-mail:bdtxt865@ybb.ne.jp <http://sugadairanr.com/default.aspx/>